

2020 年度採用分特別研究員-PD、-DC 申請について (大阪大学文学研究科)

1. 提出期日・提出方法・提出書類

別紙を参照してください。

2. 申請資格

<特別研究員-PD>

①学位取得

平成32年(2020年)4月1日現在、博士の学位を取得後5年未満の者(平成27年(2015年)4月2日以降に学位を取得した者。申請時には、見込みでも良い。)。

②受入研究機関等の選定

受入研究機関については、大学院博士課程在学当時(修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない。)の所属大学等研究機関(以下「出身研究機関」という。)以外
の研究機関を選定すること(以下「研究機関移動」という。)。なお、研究機関移動後の受
入研究者については、大学院博士課程在学当時の学籍上の研究指導者を選定することはでき
ません。

※同一大学内での他キャンパスへの移動は、研究機関移動の要件を満たしません。

PD 申請資格審査のガイドライン及び過去の申請資格審査状況については、日本学術振興
会 HP に公開されていますので、必ずご一読ください。

③国籍 日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人

※PD 申請者は、「特別研究員-RPD」に併願することが可能です。RPD の申請資格および申請受
付期間等は、本応募と異なるため注意してください。

<特別研究員-DC>

平成32年(2020年)4月1日現在、我が国の大学院博士課程に在学する者

博士課程(3年制)	申請区分
4年次以降 (2020年4月1日までに学位取得見込み)	PD
3年次	DC2
2年次	
1年次	DC1

3. 留意事項

- ・PD、DC2 申請手続きは、特別研究員採用中に在籍する機関を通じて行います。DC1 申請手続
きは申請時に在学する大学院または、出身の大学院から手続きします。他の研究機関(大阪大
学以外の機関)から申請を行う予定の者については、各研究機関が定める締切日等に留意して

申請手続きを行うようにしてください。

大阪大学内で転科等を行う予定の申請者は、採用後の受入部局（採用後の受入研究者が本務として所属する研究科等）から申請を行いますので、ご注意ください。

- ・特に PD 申請者は事前に、PD に採用された場合の研究室での受入環境（研究スペース、設備、文献等）が整っていることを受入研究者へ必ず確認してください。
- ・PD の申請資格審査のガイドライン及び過去の申請資格審査状況は、日本学術振興会 HP に公開されているので一読し、受入研究機関の選定に問題が無いことも確認してください。

申請資格審査状況ホームページ URL https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa.html

- ・受入研究者は、本研究科受入れで PD に採用された場合の研究場所は受入研究室となるため、旅費の起点が大阪大学豊中キャンパスになること、物品購入や旅費申請の手続きで定期的に来学の必要があることなどをあらかじめ了承の上、申請するよう申請者に伝えてください。
- ・申請者の在籍課程、専攻名、休学等の学籍上の情報について不明なことがあれば、在籍（出身）大学の教務担当部署に必ず申請者本人が確認してください。（申請者の認識と学籍上の記録が異なることがあります。）申請者の申請内容に誤りが発覚した場合、採用内定後であっても、採用が取り消されることがあります。
- ・特別研究員の採用期間中、学生として海外の大学・大学院に在籍する留学、及び語学研修を目的とした海外渡航はできません。

4. 電子申請システムの利用

・電子申請システム（研究者養成事業用）の ID・パスワード発行は現時点でも可能ですが、申請者が電子申請システム上で申請書新規作成ができるようになるのは、2019年4月上旬頃の予定です。開始日は、日本学術振興会ホームページ上（<https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>）の新着情報を確認してください。

・昨年度以前に当研究科で ID を取得している申請者は、同一の ID を引き続き使用できますが、この場合も「申請者登録票（2020 年度）」は提出が必要です。

・受入れ部局を大阪大学文学研究科として申請する場合は、過去の ID 発行の有無にかかわらず、別添「申請者登録票（2020 年度）」を可能な限り速やかに、庶務係宛にメールで提出してください。

事前に申請者登録票の提出が無かった場合、申請書類の提出があっても申請を受け付けません。

5. 申請書の作成

申請書の作成にあたっては、必ず「平成32年度（2020年度）採用分特別研究員申請書作成要領」及び電子申請システム該当の「操作手引」を熟読してください。

作成要領 URL https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html

操作手引き URL <http://www-shinsei.jsps.go.jp/topyousei/download-yo.html>

申請内容ファイルの PDF 化及びアップロードは以下の URL に示す推奨手順どおりをお願いします。

推奨手順 URL https://www.jsps.go.jp/j-pd/data/boshu/naiyo_torikomi.pdf

注：申請書記載事項は採用後の証明書等に反映されるため、受入研究者の所属、役職等を含め、
正確に記入してください。

- ・申請者は、評価者が「評価書」入力の間を十分に確保できるよう、電子申請システムから早めに評価書作成依頼を行ってください。評価者は、申請者の申請書情報及び申請内容ファイルを電子申請システムから閲覧することはできません。必要に応じて、申請者自身の申請書情報や申請内容ファイルの評価者へ提供するようにしてください。
- ・提出後の申請書情報のうち、評価書に影響を与える部分を修正・再提出した場合は、評価者が再度、電子申請システム上で評価書を提出する必要があるしますのでご注意ください。

6. その他

- ・大阪大学からの申請予定者は、文学研究科内での事前チェックの他、大阪大学リサーチ・アドミニストレーターによる申請書チェックを受けることができます。詳細は、「申請者登録票(2020年度)」に対する返信に添付するファイルをご確認ください。

【担当】 大阪大学文学研究科庶務係

〒560-8532 豊中市待兼山町 1-5

TEL 06-6850-5201 (直通)

Email bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp

(別紙) 大阪大学文学研究科 申請スケジュール

①「申請者登録票(2020年度)」を提出

大阪大学文学研究科より申請を行う者は、過去に電子申請システムID発行済の者も含めて必ず、「申請者登録票(2020年度)」を作成の上、庶務係宛にメールで提出を行う。**事前に申請者登録票の提出の無い者は、申請を受け付けないので注意すること。**

②電子申請システムIDの発行

申請者登録票受付後1週間以内に、庶務係から申請者へ「電子申請システムのID・パスワード」と大阪大学の申請者用書類一式を送付するので内容を確認し、申請書の作成を進める。

③【研究推進室及び庶務係 事前チェック受付】4月17日(水)15時00分まで

大阪大学文学研究科研究推進室に所属する教員による「申請内容ファイル」の文面チェック、庶務係による記載形式チェックを受ける。なお、「評価書」の内容はチェックしないため、この時点で「評価書」は入力されていなくとも良い。

- ・提出先：庶務係（受付時間帯 平日 9時～12時、13時～17時）
- ・提出書類：申請書類一式 2部※1
- ・提出方法：「**提出前チェックリスト**」で各自不備が無いか確認の上、持参もしくは郵送。海外在住者は、庶務係に事前連絡の上、メールでの提出を可とする。

注：原則として全員、提出すること。記載方法を誤っていると学振に申請自体を受け付けてもらえないため、事前チェック受付期間に間に合わなかった者も、庶務係による記載形式チェックは必ず受けておくこと（その場合、提出する申請書一式は1部で良い）。

※1 提出書類

下記(1)～(4)をA4用紙に両面印刷し、1セットずつ用紙の左上をホチキス留めして2セット提出すること。

(1) 申請書(DC用またはPD用)

■以下(ア)～(イ)の両方を合わせて申請書とする。出力の際は、両面印刷とすること。

(ア)「申請書情報」：電子申請システムに直接入力したものをPDFで出力。

(イ)「確認完了・提出」ボタンを押す前の「第0版」の状態

(イ)「申請内容ファイル」：日本学術振興会のホームページからダウンロードした所定の様式で作成し、WEB取込前の状態で提出。

(2) 特例措置希望理由書【PDに申請する特例措置希望者のみ】

電子申請システムに直接入力したものをPDFで出力。

(3) 在留資格が確認できるもの【PDに申請する日本国籍以外の者】

(4) DC申請資格チェッカーの結果【平成31年4月までに博士後期課程において休学・編入・転入の予定があるDC申請者】

適宜：【評価書】

申請者が評価者へ作成を依頼。

(DC) 1名

・現在の学籍上の研究指導者

(PD) 2名

・採用後の受入れ研究者

・申請者の研究をよく理解している研究者

■評価書は、評価者が、電子申請システムに直接入力・送信。(申請者が登録した評価者あてに、評価書作成依頼メールと評価書作成用のID・パスワードが送信される。)

注：

・DC申請の評価書作成者の「所属・職」については、申請者の所属する大学院研究科における身分を記入することとし、「申請書情報」に入力した「⑩現在の研究指導者」欄と同じであること。

・PD申請の評価者2名は、採用後の受入研究者と申請者の研究をよく理解している研究者とし、入力様式が異なるため留意すること。

・提出後の申請者情報のうち、評価書に影響を与える部分を修正・再提出した場合は、評価者が再度、電子申請システム上で評価書を提出する必要があるので注意すること。

④申請書修正

4月末～5月初旬にかけて、研究推進室と庶務係から申請者宛にメールもしくは窓口での申請書返却によって、事前チェック結果(修正依頼、助言等)を通知するので、必要に応じて、申請者自身で申請書を修正。チェック作業の進捗状況により、研究推進室と庶務係で連絡のタイミングが異なるので、それぞれ対応すること。

⑤【文学研究科提出締切】《期限厳守 5月10日(金)15時00分》

評価者が電子申請システムから評価書を提出後、電子申請システムから「申請者情報」及び「申請内容ファイル」を提出(申請書確認完了画面で「確定完了・提出」→「申請書の確認」→「OK」をクリック)。その後、システムで提出した申請書を5月8日(水)15時00分までに紙媒体で2部、庶務係へ提出して申請完了となる。

・提出先：庶務係（受付時間帯 平日 9時～12時、13時～17時）

・提出書類：申請書(DC用またはPD用) 2部

電子申請システム「申請者管理画面」の「登録内容確認」欄からダウンロードしたPDFファイル(電子申請システムで提出した申請書)をA4用紙に両面印刷し、1セットずつ用紙の左上をホチキス留めして2セット提出。1ページ目左上の版数が最新か(第1版以上。確定完了・提出後に修正した都度、第2版、第3版…と版数が上がる。)を必ず確認すること。

・提出方法：持参もしくは郵送。海外在住者は、庶務係に事前連絡の上、メールでの提出を可とする。

注：この提出以降、⑥までの間(約10日間)は原則として申請書の修正は受付不可。急を要する修正の場合は、個別に相談すること。

⑥【研究推進課による最終チェック】

大阪大学から日本学術振興会へ最終提出を行う前に、本部・研究推進課が申請書の最終チェックを行う。庶務係から申請者宛に、研究推進課の最終チェック結果を伝えるので、指摘部分は必ず修正を行うこと。このとき、指摘事項以外に申請者が希望する部分の修正も可能だが、修正後の再チェックは一切行わないため、申請者本人の責任で判断すること。

研究推進課指定の締切日以降は、申請書修正不可。

⑦大阪大学から日本学術振興会へ申請書提出

申請者は、学振最終提出締切である【6月3日(月)17時まで】は、万一来て電話もしくはメールで、大学と確実に連絡が取れるようにしておくこと。